

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月4日(土)から臨時休館となり、ご不便をおかけしました。
7月1日(水)から「新たな利用ルール」のもと通常時間帯で開館しています。

～新たな利用ルール～

利用方法が変りました！
ご協力をお願いします

1



・事前予約！

※予約対象は、印刷、会議・打合せ、PC 利用、作業など

予約の際は、団体名・人数・申込者氏名・連絡先・利用目的が必要

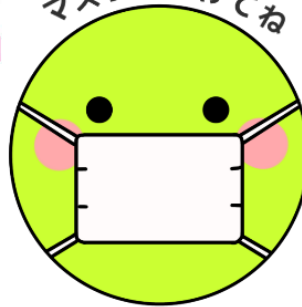
※予約なく来館の場合、入館をお待ちいただくことがあります。

・レターケース、ロッカー、掲示物の持込など短時間利用は予約不要！

・プレイルームの使用休止

2

マスクをつけてね



・手指のアルコール消毒

・マスク着用

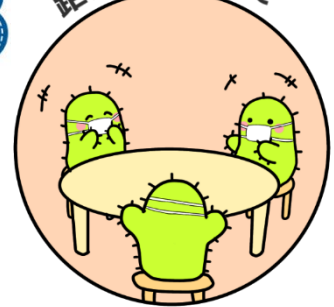
・施設利用チェックシートの記入



※ウィルス感染者が発生した際は、感染経路追跡のため、市へ情報提供します

3

距離をたもって



・「密集・密接しない」

利用者同士間隔を広くとって

・1 団体原則 2 時間以内の利用

・9:30 より 20:30 まで 1 時間ごと予約可能

作業コーナーは狭いため 1～2 名での利用をお願いします。

4

ごはんはおうちで



・水分補給 OK！マイボトル持参

・その他の飲食は控えてください

・共用食器類の使用は当面休止

5

むりはしない



・体調がすぐれない時(発熱や風邪症状ある時など)は、自宅で安静に

6

こまめに消毒



・共有部分の消毒

定期的に室内換気、テーブル・イス、機器類、文房具類、ドアノブなどの消毒をスタッフが行います。



・図書の貸出当面休止(館内の閲覧可)

・非接触型体温計の貸出始めました！(無料/予約制)

今後の感染状況や市・県の方針により、適宜対応の見直しを行います。

最新の情報は、HP をご覧いただくか、お問合せください。

▷ ちがさきサポセン(TEL/FAX 0467-88-7546、✉ s-center@pluto.plala.or.jp) ◁

サポセン、ここが便利！

前号に続き【機能編】



「市民が主役のまちづくりの拠点」～年間 346 日、1 日 12 時間オープンで市民活動をするみなさんをサポートします！

■サポセン HP(ホームページ)、Facebook

▶Web での情報発信 & 情報収集

【TOP ページ】最新情報/施設利用に関するお知らせなど
【コンテンツ】

- ・「サポセンってなに？」▷サポセンの機能
- ・「サポセンの主催事業」▷事業内容紹介
- ・「NEWS」▷主催事業案内・報告など
▷その他記事…助成金情報、講座
- ・「イベント情報」▷学べる、つながる、楽しめる情報
- ・「市民活動団体ガイドブック」▷団体の魅力がわかる
- ・「各種資料ダウンロード」▷ガイドブック新規登録、
備品借用申請書
- ・「サポセンニュースレター」▷情報紙(隔月 奇数月発行)
- ・「エコな取り組み」▷サポセンのエコ活動紹介
- ・「図書一覧」▷分野ごとに蔵書紹介
- ・「お役立ちリンク」▷活動に役立つ

※「知らせたい」「募集したい」などの市民活動のイベント情報をお寄せください。チラシの持込、またはチラシデータをメールで送っても OK。館内掲示や HP の「イベント情報」、facebook「ちがさき応援団」で広報します。



▲サポセン HP▲

<https://sapocen.net/>

「ちがさきサポセン」検索

Facebook



Twitter

SNS とも連動した情報発信！

「いいね」と思う記事はみんなでシェア！

■相談・コーディネート

「こんなときだからこそ…」、どんな小さなご相談も一緒に考えます！

地域や社会のために何かしたい、何か始めたい、ボランティアをしたい…市民の視点を大切に、思いをカタチにするお手伝いをさせていただきます。新型コロナウイルスの影響で市民活動を一時休止したり、今後の活動についてどうしたらいいか、などのお悩み相談も一緒に考えます。お気軽に相談ください。

《特別相談日(事前予約制)：毎月第 2 月曜/13:00~16:00、1 回 60 分程度》

M コラム

つながりの再認識

「久しぶりに会えて嬉しいね」弾んだ声がフリースペースから聞こえてきます。三密をさけて会話するサポセンでの新しい日常が始まりました。コロナ禍で、先の見えない不安をもちながら、これまでと同じように活動を続けることは難しいと多くの人は感じています。また、正しさも変化していくことに気づきました。公共サービスや営利活動で取り残されがちな社会問題の解決には、多くの担い手がかかわることが不可欠です。こんな時だからこそ、市民活動の力が必要です。離れていても「つながっている感覚」を、どうしたら取り戻せるか、実践を通して、自分に、仲間に「問いかけの力」を身につける方法の一つとして「問いかけカード」が開発されたことを知りました。

「今、起きていること、決まっていること、そうでないこと、今の自分、これからの変化を言葉にして共有する」など「対話」という新しいコミュニケーションの方法があります。「問いかけカード」を参考にして、みんなでこの困難を乗り越えましょう。

詳しい使い方、ダウンロードはこちらから <https://empublic.jp/teamt2oikake>
インターネットを使用されないため「問いかけカード」が入手できない方は、サポセンにご相談ください。

「問いかけカード」
変化し、不確かな状況で、
「今の状況を分かち合う」
「チームのこれからを考える」
(株)エンパブリックのサイトから、
無料で利用できます。

(株)エンパブリック：地域・組織の人を活かす仕事づくり、場づくりのノウハウを体系化し、多くの人が使えるツールやワークショップとして提供する会社

認定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 代表理事 益永 律子

2020 年度 サポセン イベント・プログラム スケジュール

市民活動をはじめたい人のきっかけづくりや学びの場、団体支援のための様々な事業を検討します。
カフェ、講座などの詳細は、決まり次第サポセン HP や情報紙(ニューズレター)でお知らせします。

- ・新型コロナウイルスの影響により 2020 年 4 月 4 日～6 月 30 日まで臨時休館しました。
- ・茅ヶ崎市「新型コロナウイルス市内感染のまん延防止に係る取り組み方針」に基づき、8 月 31 日までイベントの実施はありません。

市民活動交流カフェ(よるカフェ)

活動のきっかけづくり、仲間づくりのための交流イベント

5/15(金)に予定していた、ルダシングワ真美さん(ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト代表)を招いてのルワンダでの活動報告会は、中止となりました。義足作り等の障がい者支援を続けるため、コロナ禍でも、真美さんは facebook で情報発信、新聞、雑誌のインタビュー、オンラインワークショップ、YouTube ライブの出演など積極的に活動されています。

ルダシングワ真美さん
facebook▶



ユースボランティア茅ヶ崎

中学生から大学生くらいまで青少年対象の夏休みボランティア体験 ⇒ 開催中止

◆団体対象◆

ボランティア塾 in 鶴嶺高校 開催未定

1 年生対象

市民活動団体による学校での体験型授業

若者ボランティア支援

中高校生のボランティア活動を応援中！

◆団体対象◆

市民活動団体等と行政の協働に向けた
意見交換会

⇒開催中止(P6 参照)

◆団体対象◆

「市民活動げんき基金補助事業」団体支援
市民自治推進課と連携して、申請から実施、報告まで個別にサポート！

・2020 年 12 月:「伝わる！企画書作成会」
(2021 年 3 月:公開ヒアリング&

公開プレゼンテーション)

・2021 年 4 月:「事業の進め方説明会」

・2022 年 3 月:「事業の報告書作成会」

(2022 年 5 月:事業の実施報告会)

7

「市民活動団体ガイドブック」

▶ 新規登録団体 随時受付中 ◀

2020 年度 WEB 版は 9 月頃に公開予定
冊子版は 9 月頃に発行予定

8

■通年■

・広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月 15 日号が休刊のため 10 月より
掲載再開予定

・FM83.1 レディオ湘南

市広報番組「はまかぜちがさき」

毎月第 4 月曜 13:30～13:35 の

市民活動イベント等紹介は休止中

9

地域の居場所づくり交流会 V

居場所を始めたい人や運営に悩める人…
みんなで学び語り合い、つながりを深める
交流会を今年も開催予定。

*「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」が
スタート！(P7 参照)

10

11

NPO 講座 (12 月～翌年 3 月)

情報発信力・組織運営力アップのための講座
を企画中！

12

オンライン講座、検討中

2021

1

こどもたいけん☆ワイワイまつり

こどたん 2021



<開催時期、場所未定>

まちの未来をつくる子どもたちが、ものづくりやあそびを通して“茅ヶ崎”を知る体験型イベント。市民活動団体や行政、市内事業者が連携・協力しての実施を目指すおまつりです。

★交流イベントの開催アイデア募集中！★

3

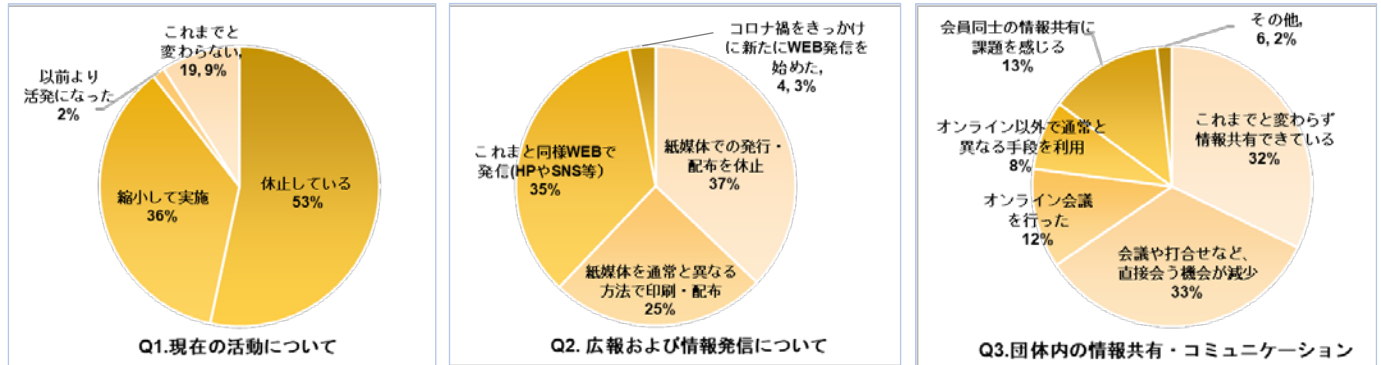
「新型コロナウイルス」の影響と今後の市民活動に関するアンケート集計結果

実施期間：2020年5月31日～6月20日 アンケート回答数：210団体（回収率62%）

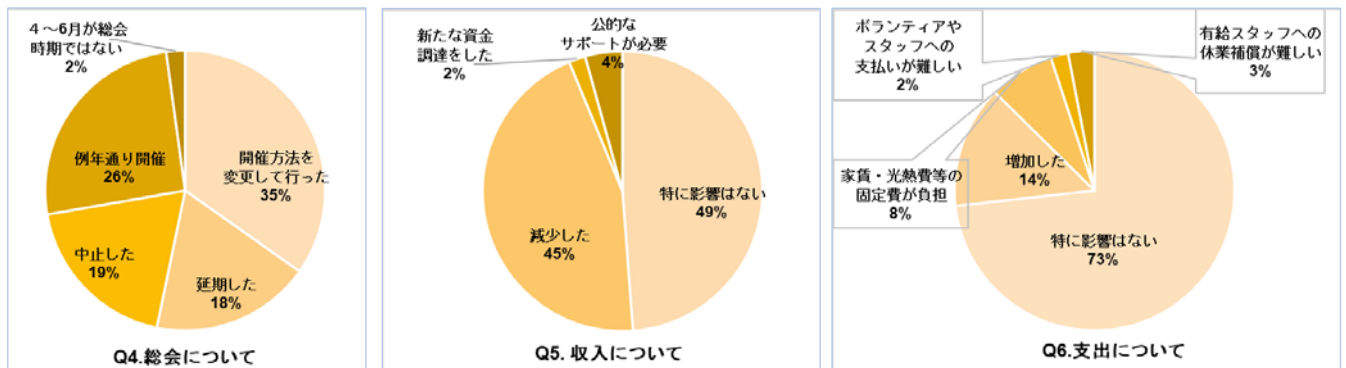
新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動変容は、市民活動にも様々な影響を与えています。サポセンでは、データベース登録団体が置かれている現状と課題を把握し、今後の施設運営や市民活動の支援・推進事業に反映させるべく、Google フォームおよび紙面でのアンケート調査を行いました。溢れる思いを紙面の余白いっぱい書いて返送くださった団体がたくさんありました。ご協力ありがとうございました。今回の結果を共有することで、新たな時代の市民活動のあり方や連携・協働の可能性について、共に考えるきっかけとしたいと思います。

（※グラフのパーセンテージおよび件数は、有効回答数を反映して作成しています）

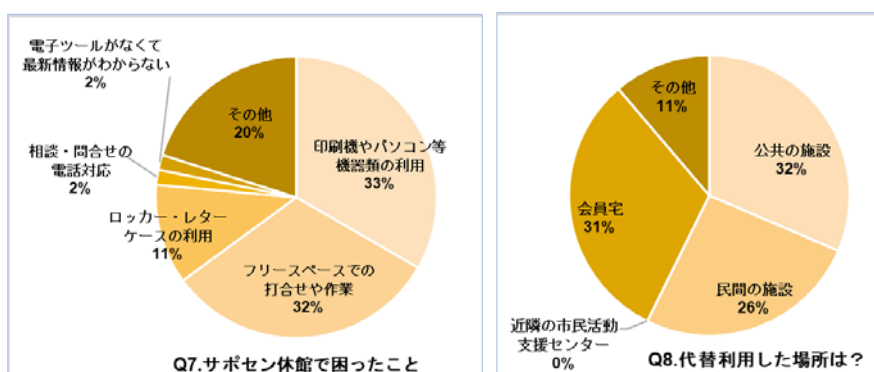
《新型コロナによる市民活動への影響》



- ・「変わらず」または「縮小して」活動との回答が多かったのは、福祉・環境・人権・子どもの分野、オンライン活動が中心の団体。
- ・公共施設が休館中の印刷については、会員宅のプリンタ、コンビニ・コピー専門店が多かったようです。
- ・情報共有ツールでは、メール、LINE、Facebookの順に多く、新たに導入したものとしては、ZOOMが最多、その他Skype、LINEビデオ通話など。手紙やはがき、電話・FAXなどのアナログツールを見直したという意見も多く寄せられました。
- ・お悩みとして「人により情報取得ツールが異なる」「オンラインツールのスキル不足」の声が目立ちました。

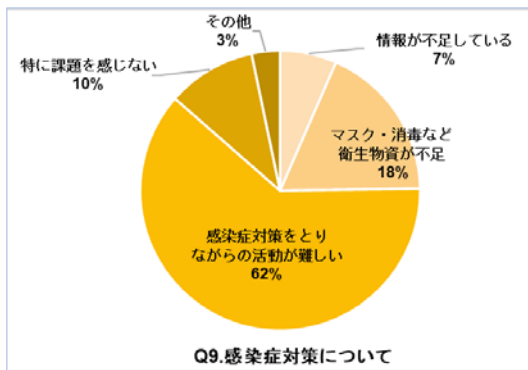


- ・総会のやり方変更で多かったのは、電磁的方法による表決、オンライン会議、みなし総会、の順。
- ・収入減の理由で一番多かったのは事業（イベントやバザー）休止によるもの、次いで寄付金の減少。その他、委託金や補助金の返還請求があった、会費を徴収できない、新規入会の勧誘ができない、団体提供サービスの利用者減少など。
- ・支出に関しては、増加した経費として、郵送費、感染症対策に掛かる消耗品費、通信料をあげる団体が多くありました。



- ・サポセン休館中は団体の活動自体が自粛されており、特に困ったことがなかった、という回答も多くありました。公共施設を一律休館とせず感染症対策を講じた上で使えるとよかった、HPやメールで情報が得られるので問題ない、オンラインで打合せした、公園など屋外で会議した、という声もありました。

休館中の皆様のご理解とご協力で改めて御礼申し上げます。



Q10.その他、特に不安に感じていること（自由記述）

- ・どこまでやれば大丈夫なのか、自分たちがクラスターになってはいけない、夏場のマスクと熱中症が心配、終息が見えない。
- ・活動場所が制限される、活動の幅が狭まる、3密回避が難しい。
- ・マスクをすると難聴者とのコミュニケーションが難しい。
- ・ボランティアに來ないでと言われそのまま辞める人が出るのではないか。
- ・社会的活動の場がすべて使えなくなった。営利事業者と異なり、活動を制限しても困らないとみなされないか心配。
- ・長期活動休止による高齢者の健康不安、ふれあい・親睦ができない。
- ・げんき基金補助事業が市の方針で8月末まで実施できず不安。

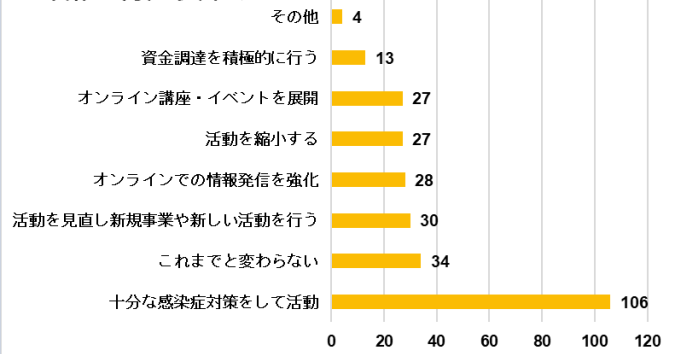
・誰でも参加でき、誰もが自由に活用できる「居場所」をどのように確保できるだろうか、活動方法を変えていく必要がある。

Q11.新型コロナの中で工夫したこと、やってみて良かったこと、新たに発見したこと（自由記述）

- ・オンライン導入、活用の効果：会場費や交通費がかからない、自宅に居ながら会議できる、遠方の人とも交流が簡単、実際に行くことはちょっと勇気がある方でも一歩踏み出せた、滞っていた会議が定例化、会員同士で使い方を教え合った、個々のITスキルがあがった、活動の場（幅）が広がった、今後有効なツールであると確認できた、団体内のコミュニケーション維持が図れた、年代によってツールを変えている、など。
- ・副業やりモートを取り入れる人が増え地方の魅力が人を呼ぶ。地域の発展や多様な人材確保に繋がる。
- ・マスクをして保全管理作業中、沢山の散歩をしている人と出会う。身近な自然環境に目を向ける良いきっかけとなったのでは。
- ・これまでの活動を振り返った、ノート・資料を整理した、法人の内部規約等を整備、新しい活動の進め方・ルールとマナーを作成、思っていた以上に自分にとって大事な活動であると感じた、活動の必要性をメンバー間で確認できた。
- ・その他、感染症対策についての工夫（多数）、今までとは異なる屋外での活動や新規事業へのチャレンジなど。

《今後の市民活動について》

Q12.団体の今後の取り組み

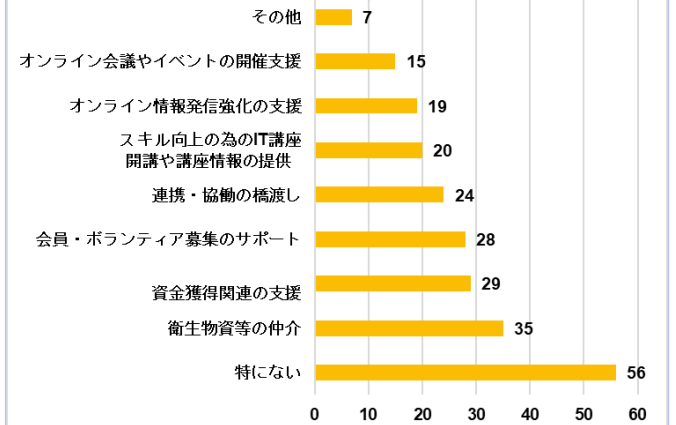


・感染症対策をとりながら、今後もあまり変わることなく、自分たちのできる活動が続ける、自律した団体が多いようです。

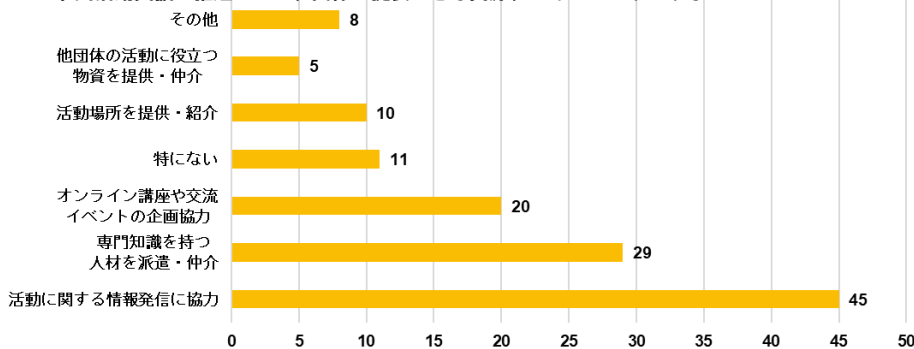
・コロナの影響で積極的にオンラインを活用した団体も多かった一方で、今後オンラインでの情報発信強化をしたい、オンライン会議やイベント開催の支援をしてほしい、ITスキル向上のために学びたい等、IT支援のニーズも多くありました。

・連携・協働の相手に関しては、行政が一番多く、その他事業者、関連機関、他団体、大学、地縁団体、と続きました。

Q13.いま特に必要と感じる団体への支援



Q14.市民活動支援・推進のため、団体が提供できる資源、スキルやノウハウなど



Q15.サポセンや行政への提案（自由記述）

- ・コロナ禍で活用できるオンラインシステム、受給可能な給付金や助成金、利用できる市内貸スペースの一覧等、活動に役立つ最新情報の提供を期待します。
- ・寄付集め発信を地方紙等でお手伝いしてもらえたら助かる。
- ・団体同士の横のつながり強化のための、PRビデオの作成、セミナーやテーマのある懇親会などオンラインでの開催。
- ・他団体との連携を深めたい。

・行政の感じている課題が我々のリソースを使って解決可能であれば、どんな課題を抱えているか知り、事業展開していきたい。

・様々な団体の工夫は励みになる、アンケート集約はありがたい、一緒に頑張ろう！という励ましの言葉もたくさん頂きました。

令和2年度実施 市民活動げんき基金補助事業 14事業が決定！

市民活動団体の自主的で公益的な事業を財政的に支援する「市民活動げんき基金補助制度」。
3月の公開ヒアリング・公開プレゼンテーションを経て、団体の自立を促進し活動を軌道にのせるための「スタート支援」8事業と、団体の活動の拡充と発展を目的とした「ステップアップ支援」6事業が採択されました。
詳細は、茅ヶ崎市 HP で公開中▶



団体名	事業名	交付額(円)
スタート支援（8事業）		
4 Hearts	みみとこころのポータルサイト	100,000
わんにゃんマルシェ 実行委員会	捨てられる動物たちの命を救うイベント「わんにゃんマルシェ」	100,000
特定非営利活動法人 Ocean's Love	知的発達障がい児・障がい者のためのサーフィン体験会	100,000
NPO法人 セカンドワーク協会	～市民活動団体にIT伴走する～「Web制作のシニアリーダー育成事業」	100,000
茅ヶ崎断酒新生会	アルコール問題に関する啓発事業	63,000
潮音(しおん)	おにぎりを一緒に食べる読書会	74,000
湘南ながうたの会	はじめてでも楽しめる長唄三味線演奏会・はじめての長唄三味線ワークショップ	100,000
松林MSC(メンズ・ スポーツ・クラブ)	”男の若返りトレーニング”教室	62,000
ステップアップ支援（6事業）		
ガーゼ帽子を縫う会	(1)触診モデルを用いた乳がん啓発活動、(2)がんサイバーのためのワークショップ	308,000
えぼし岩海の自然体験 教室実行委員会	2020上陸20回記念事業 陸上版「えぼし岩海の自然体験教室」	220,000
サンチャイ・ネパール ねばるば	みんなの居場所作り事業	186,000
特定非営利活動法人 SUERTE	運動機能・認知機能が向上するスポーツリズムトレーニング！ ～楽しみながら心・頭・体を動かそう～	422,000
ちがさき開智舎	探究的学習による思考力、読解力の強化・・・のびしろの自覚と育成・・・	213,000
ミナスタ	～サッカーを通じた運動教室～	244,000

※新型コロナウイルスの影響で事業内容が変更される場合があります。

▷「令和元年度実施 *市民活動げんき基金補助事業・協働推進事業実施報告会」の開催は中止

*実施報告書冊子は茅ヶ崎市 HP で公開中▶



市民活動団体と行政の協働～制度見直し中

茅ヶ崎市協働推進事業の始まりは、平成19年(2007年)度。複雑化・多様化する地域の課題や市民ニーズに対応するため、「市民活動団体の特性を生かした公共サービスの創出」と「地域力の向上」を目的に、行政提案型と市民提案型のふたつの制度が導入されました。(市民提案型は平成20年度から)

これまでに、行政提案型49事業、市民提案型48事業が実施されましたが、「事業実施件数が減少していることや、厳しい財政状況を踏まえて、協働推進事業のあり方を検討」することとなりました。令和2年度以降は事業募集をせず、より「多様な協働形態を推進するため」、制度の見直しが行われます。

▶協働に関するお問合せは、総務部 市民自治推進課 協働推進担当まで

(TEL：0467-82-1111 FAX：0467-87-8118)

※参照：茅ヶ崎市 HP「協働推進事業について【制度見直し中】」▶



見直しに伴い、サポセン主催事業として毎年夏に実施してきた「市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会」の開催は中止しますが、今後も引き続き「協働のまちづくり」を目指してまいります。様々な主体同士が互いに理解を深め、地域の課題解決に向けて連携・協力して取り組むきっかけとなるような新しい形の場づくりを検討中です。
個別相談は随時受け付けています。協働のアイデアがある、担当課と話がしたい、現在行っている協働の取り組みについて悩みがある等、どうぞお気軽にご相談ください。

「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」がスタート

サポセンでは、地域の居場所づくりに関する知恵を学び・共有するための「地域の居場所づくり交流会」を、過去4回開催してきました。「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」は、昨年度1月18日に開催された「地域の居場所づくり交流会Ⅳ」がきっかけとなって誕生しました。

「居場所づくりについて日頃から情報交換するネットワークをつくりたい」とのサポセンの呼びかけに応え、上記ネットの発起人となったのが塚本裕丈さんでした。彼が作成した「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」設立趣意書には、「お年寄りや身体の不自由な方から子どもまですべての人々が、日々の暮らしのなかで人とのつながりを感じて、喜びを感じ、将来に対する不安も感じなくてすむ地域社会をつくっていききたい」と書かれています。

あいにく、ネットワークの立ち上げが、新型コロナウイルスの感染拡大の時期と重なり、実際に顔を合わせての情報交換が難しくなったため、まずはオンライン、facebookの情報交換からスタート。

7月1日現在、facebookグループの参加者は37名。これまでの話題は、市内外の居場所の実践事例、空き家活用の課題と他地域の取り組みなど。facebookでの情報交換に加え、5月27日にはZOOMによるオンライン会議を開催。また、7月2日には実際に顔を合わせてのオフ会を開催し、今後の夢を語り合いました。

▶上記ネットワークの詳しいことは、
「サポセン・小山(s-center@pluto.plala.or.jp)」までご連絡ください。



茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

さぽちゃんが行く！

団体公式 LINE▷



GENKIプロジェクト

2017年4月、子育て中のママ達のあったらいいな…の思いを形にしようと仲間と結成。
主に鶴が台(茅ヶ崎市の北側)を中心に地域の方々と楽しみながら、そして助け合いながら活動中。

代表の井出さんにお話をうかがいました

地域の人との出会い

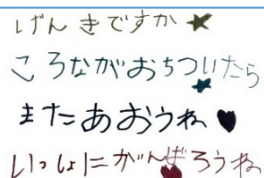
子どもが生まれた頃、孤立しがちで誰かに相談することができない環境でした。これではいけないと思い地域のイベントに参加。“鶴が台みんなの居場所”で開催しているカレーの食堂もその一つです。“みんなの居場所”は団地の活気を取り戻そうと周辺のシニアが活動されています。身近な子育ての情報不足を感じていたとき「近場でお母さんの気軽な交流の場を作りたい」とそこで話すときよく聴いてくださり、人を繋げて背中を押してくださいました。同じ保育園の人や居場所で出会ったママたちと、ぜひやろう！実現に向け道が開けました。

笑顔あふれるほっこりした地域に

GENKIプロジェクトとして始めた活動の一つは、こども用品のリユース会。まだまだ使えるものを誰かの笑顔のためにと始めました。もう一つが、鶴が台団地の広場で赤ちゃんからシニア、そしてハンディのある方の枠を超えて楽しめるフェスティバルです。

今はコロナ禍で、フェスティバルは次の予定が立てにくい状況ですが、子育て世代にはオンラインカフェを開催。手遊び、歌、母の日クラフトなどで楽しい時間を共有しました。

シニア世代には、子ども手書きのメッセージでほっこりしてもらえようと、コロナ収束後開催のお知らせポスターを作り地域の掲示板に貼りました。



▲子ども手書きメッセージ

“みんなの居場所”は、初めは食べに行ってお母さんを遊ばせる側だったけれど、次第にカレー提供の受付や楽しい勉強部屋？のお世話係をするようになりました！

コロナの影響でカレーの食堂代替えのテイクアウトにも運営参加。困っている人に届くように、お知らせの仕方をを試行錯誤中です。おなじ目線、楽しい場所、という事を心掛けています。

サポセンの居場所づくり交流会に参加したことも、自身のブラッシュアップになりました。そこで出会った方々と情報交換し、何かカタチにしようと動き出しています。

家庭、仕事と忙しいけれど「自分たちが楽しい、それを喜んでもらえるのが嬉しい」運営側、参加者と分けるのではなく一緒に「創る」「支え合う」が地域のふつうになるといいな。

これから…そして、夢があります！

9月から月1回、0歳児のママ向けの活動を開催します。場所はいつもの鶴が台。産後すぐの方のための内容です。

夢は親子カフェ！地域を巻き込んで、シニアやハンディがある方は運営側としてマッチング。小さい子どもに特化し、気兼ねない“オシャレ”なカフェ(居場所)を作り、地域の方に喜んでもらえることをやりたいです。

お話の間、井出さんは終始元気ハツラツ。他のメンバーも、団体名“GENKIプロジェクト”がぴったり！夢がかないますように、応援したいと思います。

市民と NPO をつなぐ

「ちがさき市民活動団体ガイドブック 2020」発行

よりよい地域や社会を目指し、営利を目的とせず公益的な活動をしている市民活動団体の情報をまとめ、「市民活動ガイドブック」として冊子やホームページで紹介しています。314 団体が掲載！（7/10 現在）

活動を始めるきっかけづくり、市民活動団体間のネットワークづくりなど、幅広くご活用されています。

登録団体情報に加え、市の補助金、保険などのお役立ち情報も掲載しています。

◎冊子版の発行 ◎WEB 版 団体情報の更新は、9 月予定。

▶新規登録(随時受付)

登録申請用紙は、窓口で配布。ホームページからもダウンロードできます。必要事項に記入し、提出ください。

※「市民活動団体」チェックシートを団体内で確認してからの登録がおすすめ。

▶登録のメリット

◎団体の認知度・信頼度があがる

◎活動情報の発信機会が増える(サポセンホームページ等に情報掲載)

◎サポセンから郵便や E メールでお役立ち情報を受け取ることができる



掲載・紹介放送 休止のお知らせ



○広報ちがさき(毎月 15 日号)「市民の活動だより」

9 月 15 日号まで休刊のため掲載休止

○FM83.1 レディオ湘南(毎月第 4 月曜 13:30~13:35)

市民活動イベントなどの紹介はしばらくの間、休止

7 月							
サ	月	火	水	木	金	土	日
ポ			1	2	3	4	5
セ	6	7	8	9	10	11	12
ン	13	14	15	16	17	18	19
カ	20	21	22	23	24	25	26
レ	27	28	29	30	31		
ン	○休館日：7/15						
ダ	□館内利用制限日：フリースペース(大)						
！							

8月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
○休館日：8/19						
□館内利用制限日：フリースペース(大)						

9 月							
サ	月	火	水	木	金	土	日
ポ		1	2	3	4	5	6
セ	7	8	9	10	11	12	13
ン	14	15	16	17	18	19	20
カ	21	22	23	24	25	26	27
レ	28	29	30				
ン	○休館日：9/16						
ダ	□館内利用制限日：フリースペース(大)						
！							

※主催イベント開催のため上記以外でもフリースペースのご利用を制限させて頂く場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

▶開館時間 9:30~21:30

▶休館日 毎月第 3 水曜日、年末年始(12/28~1/3)

▶アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

ちがさきサポセン 検索

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp

▶指定管理者 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき(指定管理期間：2017 年 4 月 1 日~2021 年 3 月 31 日)

令和元年度「茅ヶ崎市エコ管理賞」受賞！

エコ管理賞は、市の施設を管理する指定管理者が取り組む優秀な環境配慮活動を表彰し、その取り組みを PR することで、環境配慮活動の広がりを進めることを目的として平成 26 年度から始めました。

(認定特非)NPO サポートちがさき(サポセン指定管理者)の受賞は平成 26 年度に続き 2 回目。1 年を通し実施してきたエコイベントや取り組みなどを申請しました。

副賞として賞状(館内入口掲示中)、デジタル温湿度計、エコバックをいただきました。

これからも、利用者の皆さんと共に省エネ・省資源に努めていきます。

エコ取り組み紹介▶



安心して市民活動を行えるように…

「市民活動等災害補償制度」(市民活動保険)

市民活動中に起こってしまった予期せぬ事故によるケガ等について補償されます。市内に活動拠点を置く市民活動団体等を被保険者として茅ヶ崎市が契約していますので、事前の登録手続きや保険料は不要です。

対象事故は、**傷害事故**<熱中症(熱射病・日射病)、細菌性食中毒及びウイルス性食中毒も対象>、**賠償責任事故**。

詳しくは、市民自治推進課(82-1111)まで。

上記の他に、ボランティア活動の保険

として、**ふくしの保険、スポーツ安全保険**

もあります。詳しくは、サポセン HP の

「お役立ちリンク」をご覧ください。



サポセンキャラクター
“さぼちゃん”

